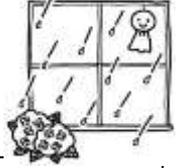


図書だより

平成30年6月14日
秋田県立視覚支援学校
図書委員会発行
No.2

梅雨時、読書はいかが？



六月の長雨を「つゆ」と呼びますが、梅の実が熟す頃なので、漢字では「梅雨」と書きます。また、梅雨の長雨を「さみだれ」（または、さつきあめ）ともいいます。梅雨の六月は、昔の暦では五月なので、漢字では「五月雨」と書いて「さみだれ」と読みます。同じ長雨でも「梅雨（つゆ）」と呼ぶのと「五月雨（さみだれ）」と呼ぶのでは、印象が違いますね。湿度の高いじめじめした日が続きますが、アジサイの花が咲き、田植えの季節でもあります。

梅雨時、しとしと降る雨音に耳を傾けながら、じっくり読書をするのもいいですね！

「大人も読みたい さいじき こども歳時記」より、梅雨時の俳句を紹介します。

にわとりがテトテ歩く梅雨晴れ間（小4）
つゆ

梅雨の日は心も傘をさしている（中2）
かさ

五月雨をあつめて早し最上川（松尾芭蕉）
さみだれ もがみがわ まつおばしょう

空も地もひとつになりぬ五月雨（杉山杉風）
さつきあめ すぎやまさんふう

あぢさみ咲く一輪づつに雨の粒（小5）
じ い い いちりん ず つぶ

笑ってるあじさいいっぱいつゆの入り（小5）

あぢさみのどの花となく 雫かな（岩井秀雅）
じ い しずく

雨どどと白し菖蒲の花びらに（山口青邨）
しょうぶ せいそん



※「こども歳時記」は、図書室にあります。興味のある方はどうぞ！

図書委員による今月のおすすめの本



中学部1年 S. M. さんからのおすすめの本です！

「おっことチョコの魔界ツアー」 ま かい

令丈ヒロ子 他（著） 講談社青い鳥文庫

春の屋旅館で若おかみの修行中のおっこと、キュービッドのもとで黒魔法の修行中のチョコ、この二人は、以前一回会っているが、「忘却魔法」ぼうきゃくまほうをかけられて、お互いを忘れていた。そんな時、キュービッドの元に一通の手紙が届く。その内容は、おっことチョコの忘却魔法を解くと、魔界で一泊温泉ツアーができるというものだった。キュービッドは、そこに居合わせた鈴鬼（すすき）と二人に、お互いをどう思い出させようか、考える・・・。

果たして二人は、お互いを思い出すことができるのか、そして、無事に魔界に行くことができるのか、またお互いを忘れてしまうのか・・・。

この本はとても面白いです！ 「若おかみは小学生」、「黒魔法さんが通る！！」シリーズが好きな人は、ぜひ読んでみてください。



★寄贈本他の紹介（4月～6月初めまで）

種類	本のタイトル	著者等
活字・点字	和食の基礎知識 上巻(知識編)、下(レシピ編)	すこやか食生活協会
活字	スサノオ 倭の国から日本へ 2	阿上 万寿子
活字	月の輪ぐま「のりちゃん」物語	仲澤 弘昭
DAISY	わいわい文庫 マルチメディアDAISY図書2018(CD4枚)	伊藤忠記念財団
活字・点字	さわってまなぶ くじらの本	太地町立くじらの博物館
活字	◆黄鵠鵠(きせきれい)	鈴木 修一

◆「黄鵠鵠(きせきれい)」について

この本は、なんと！ 本校の鈴木校長先生が、昨年刊行された俳句集です。図書室の「おすすめコーナー」に置きますので、ぜひ手に取ってごらんください！